

# 堤体から 海が 見えるダム

## 佐和田ダム

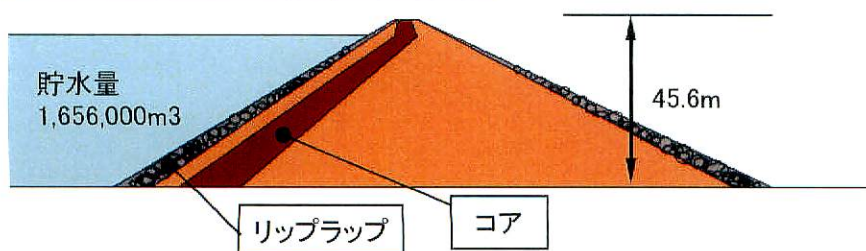
### 佐和田ダムを知る

佐渡島の最高峰・金北山を主峰とする大佐渡山脈の南麓に建設された佐和田ダムは堤高45.6mのフィルダムです。県営かんがい排水事業「佐和田地区」で佐和田を中心とする田畑740haのかんがいを行うために造られ、総貯水量は1,656,000m<sup>3</sup>に達します。昭和52年度着工以来、総事業費82億円と14年の歳月を費やし、平成2年3月に完成しました。

### 佐和田ダムデータ

ダム型式	傾斜コア型ゾーンタイプ
堤高	45.60 m
堤頂高	129.10 m
堤頂幅	8.00 m
満水面積	140,800 m <sup>2</sup>
総貯水量	1,656,000 m <sup>3</sup>

### 堤体断面イメージ図





# 佐和田ダムができるまで

佐渡島において、県営かんがい排水事業としてダムが建設されてきた歴史は古く、戦前に着工された新穂ダムを最初として、小倉川、竹田、羽茂の4ダムが完成し、当佐和田ダムは昭和62年に完成した藤津川ダムに次ぐ6番目に建設されたもので、当時としては島内最大の貯水量、堤高を誇っていました。

以下、施工状況を写真で振り返ります。

